

11時15分まで、暫時休憩といたします。

〈午前11時08分 休憩〉

〈午前11時15分 開議〉

○議長（古畑浩一君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、渡辺栄一議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。〔4番 渡辺栄一君登壇〕

○4番（渡辺栄一君）

渡辺栄一でございます。

市民の皆様方をはじめ、いろいろな方々のお知恵を賜りながら、稼げるまち、人口増を目指し活動することで、当市の翠の交流都市、さわやか、すこやか、輝きのまちへ寄与してまいりたいと存じております。よろしく願いいたします。

発言通告書に基づき、1回目の質問を行います。

1、子育て関連施設計画について。

これまでの子育て関連施設計画に伴う経過とこれからの動向について伺います。

- (1) ビル取壊しに関する入札が6回も不調となり、市と事業者が算定する金額が大差のまま何度も同様な入札が続けられたことをどのように捉えているか。
- (2) 入札監視委員会が設置された経緯と目的はどのようなものなのか。
- (3) ビルの跡地の広場は、汎用性のあるものとされているが、冬季の使用はかなり限定化されるのではないかと。冬季に活用されているほかの自治体の事例を示してほしいが、いかがか。
- (4) 市内周辺には、ほかにも広場のような箇所があり、改めて整備する必要があるのか。民間に売却して、まちおこしに有効活用してもらおう考えはないか。
- (5) 中央大通り沿いに計画されている全天候型子ども屋内遊戯場は、適地ではあると思うが、賃貸借料や高価な遊具に対する支出が見込まれている。貴重な市民の税金を使うため、コスト面での改善など必要と捉えるが、いかがか。

2、人口減少対策推進について。

人口減少対策推進に伴う施策について伺います。

- (1) これまでの人口減少対策として掲げられていた重点推進項目の成果と課題について、どのようなものであったと捉えているか。
- (2) 令和9年度から始まる「第4次総合計画」とは、具体的にどのようなものなのか。
- (3) 最重要課題とされる「人口減少社会への対応」として、人口の年齢構成改善に向けた取組には、何が有効と考えているか。
- (4) 経済団体等民間や周辺自治体との連携とあるが、どのような効果が期待されるのか。

(5) 体制整備として「人口減少対策本部会議」と「人口減少・少子化対策プロジェクトチーム」の目的と位置づけはどのようなものなのか。

3、高齢者を取り巻く現状と課題について。

高齢者を取り巻く現状と課題について伺います。

(1) 人口構成における高齢化率の推移について、今後の見通しをどのように捉えているか。

(2) 在宅での介護や施設等への入所生活など、おのおのの要望はかなえられているのか。また、どのような方法で把握しているのか。

(3) 在宅介護で介護している方の仕事との両立、介護離職について、どのような対策が有効と考えられるか。

(4) 今後、介護サービス基盤の計画的な整備・強化をどのように進めていくのか。

以上で、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

渡辺議員のご質問にお答えさせていただきます。

1番目の1点目の入札不調につきましては、毎回、設計内容を見直し、落札に至るよう努めてまいりましたが、設計書の記載内容の捉え方の違いにより、結果として不調が続いたものと捉えております。

2点目の入札監視委員会につきましては、3年度に発生した官製談合事件を受け、設置した、官製談合再発防止対策検討委員会の提言に基づき、4年度に設置したもので、市の入札及び契約手続における透明性及び公正性の確保を図ることが目的であります。

3点目の広場の冬季活用につきましては、市内でも冬季のイルミネーション装飾が行われている例があり、雪の多い地域では、雪を活用した滑り台や雪合戦等のイベントで、来場者を楽しませているものもあります。

冬だから使えないという広場ではなく、自ら考え、工夫して遊ぶ場という理念により、冬期間でも活用できる広場として、整備を進めてまいります。

4点目の用地売却による、まちおこしにつきましては、具体的な事業構想や収益性の裏づけもないまま用地を売却し、民間に委ねるという考えはありません。

5点目の費用の考え方につきましては、利便性が高く、利用しやすい場所では、一定のコストがかかることはやむを得ないものと考えており、賃貸条件については、土地等の評価額や建物維持・修繕費用の一部も含まれることから、妥当と捉えております。

2番目の1点目の人口減少対策の成果と課題につきましては、他自治体との比較や市の事業をライフサイクルの視点で整理することにより、施策の関連性や全体像をお示しできたことを成果と捉えております。

また、昨年10月から市内13会場で懇談会を開催し、人口減少社会に対応したまちづくりについて市民の皆様と対話を重ねられたことも、成果の一つであると考えております。

一方で、国全体が人口減少社会へ移行する中、社会変化への対応や制度の再設計の必要性につい

での説明や取組が十分であったとは言えず、市民や関係団体との意識共有が課題であると認識しております。

2点目の第4次総合計画につきましては、9年度からスタートする、まちづくりの方向性を定める当市の最上位計画であり、人口減少社会に対応するとともに、住みたいまち、住み続けられるまちを目指す指針となるよう策定を進めております。

3点目の人口の年齢構成改善に向けた取組につきましては、人口減少対策に特効薬はないと考えております。

しかしながら、これまでの事業を検証し、新規施策の構築や既存事業の再編・統合を図るなど、実効性を高める取組を進めてまいります。

4点目の民間団体や周辺自治体との連携につきましては、就労環境の改善や地域経済の活性化には、産官の連携が不可欠であります。

また、周辺自治体と連携し、エリア全体の魅力を高め、人や仕事の流れを広域的に生み出し、移住・定住の促進や地域活性化につなげてまいります。

5点目の庁内体制につきましては、人口減少への対応は、全庁横断的な取組が必要であることから、人口減少対策推進本部及び人口減少・少子化対策プロジェクトチームを設置しております。全ての職員が自らの課題として捉え、組織一体となって施策を推進してまいります。

3番目の1点目の高齢化率の推移につきましては、6年3月の高齢者福祉計画策定時点では、高齢化率は少しずつ上昇し、2045年には48.8%になると推計しております。

2点目の在宅や施設での要望につきましては、希望するサービスが受けられる体制は、現時点では、おおむね整えられていると認識しており、ケアマネジャーからの聞き取りや、計画策定にあわせたアンケート等で把握しております。

3点目の介護と仕事の両立につきましては、職場における介護休業・休暇制度の充実や制度を利用しやすい職場づくり、労働時間の柔軟な選択などの対策が必要と考えております。

4点目の介護サービス基盤の整備・強化につきましては、8年度に認知症グループホームの整備を予定しており、今後は、人材の確保をはじめとして、既存のサービスの維持・充実に努めてまいります。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては所管の部・課長からの答弁もありますので、よろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

それでは、2回目の質問に入ります。順番どおりでお願いをいたします。

子育て関連施設計画についてであります。

先ほど田中議員と重複する部分もあろうかと思えますけれども、よろしくお願いをいたします。

(1) についてですけれども、この資料によりますと、旧東北電力ビルの入札結果が第1回目の令和6年7月から第5回目の令和7年1月まで、1事業者が税抜き価格1億1,800万円で同じ金額で行っているのに対し、当市は税抜き価格で8,634万円から8,794万円であり、5回目のときは1回目の金額に160万円を上乗せした価格の設定でありました。3回目のときには、市外に範囲を広げて、2者となりましたけれども、もう1者のほうが700万円増の、税抜き価格1億2,500万円であり、さらに超過となりました。それ以降は、また1者となったということです。

この5回の入札全体を通して、税抜きで3,166万円から3,706万円の開きがあったことになるんですけれども、単独ではなく、糸魚川市役所は組織で動いておると思いますので、途中でこの課と、途中で課であるとか係の中で疑問に思う職員がいなかったのかどうか、そこら辺をお聞かせください。

○議長（古畑浩一君）

答弁側に申し上げますが、元気よくはっきりと答弁していただくようお願いを申し上げます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

塚田財政課長。〔財政課長 塚田修身君登壇〕

○財政課長（塚田修身君）

お答えいたします。

1回目から5回目につきましては、今ほど議員のほうから質問の中で述べていただいたとおりの結果でございます。私どもその数字を見て、それぞれ思うところはあるかもしれませんが、先ほども田中議員のときにも答弁させていただいたかと思うんですが、私どもはその際に、一回一回仕様の内容だったり設計の内容だったり、また都度ご質問を、公告した以降は、不明な点につきましては業者の皆様から質問事項を受けます。質問についても回答させていただきますが、その回答について、ともすると分かりづらかったのではないかと、そういった内容を全てもう一回洗い直して、改めて再度、入札のほうを公告させていただいております。

その結果、1回から5回目まで応札された業者におかれましては、金額同じだったんですけれども、私どもは一回一回見直しをかけて、適切に入札のほうを公告しておりますので、あくまで結果としてこういうふうな形になってしまったものだというふうには捉えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

それでは、やっぱり何でしょうかね、職員の中で、課長ちょっとこれおかしいですよとかって、そういったことを言ったりして、風通しはいいんだと。職場の、何ていうんでしょうか、チーム内での風通しはいいんだというふうに理解してよろしいんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

塚田財政課長。〔財政課長 塚田修身君登壇〕

○財政課長（塚田修身君）

お答えいたします。

職場内の風通しというところは、私も課長という職についてる中で、風通しがいいというふうには理解はしておるところですが、ただ、職員全員がそのように思っているかどうかというところは、私のほうでちょっと理解しかねますが、議員ご指摘のとおり、風通しのいいといいますかね、意見しやすい環境のほうは引き続き、整備をしていきたいというふうを考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

私、一緒に、皆さんと一緒に机を並べて仕事をしてるわけじゃないもんですから、ちょっとそういった内情とかも分かりませんので、ちょっとお聞きしたというところであります。

この後も、4回、5回と行って、入札方式を見直すために年度内の発注手を停止して、新年度に再開するとしたという流れだったと思います。

そもそも旧東北電力ビルを令和2年12月に購入したこの5万4,000円ですね、この算出根拠というものが、やはり乖離してたんじゃないかというふうに思うんですけど、そこら辺はいかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

塚田財政課長。〔財政課長 塚田修身君登壇〕

○財政課長（塚田修身君）

お答えいたします。

総務文教常任委員会でも、同じようなご質問があったかと記憶しております。不動産鑑定評価額につきましては、議員もご承知のとおり、旧東北電力ビルにつきましては5万4,000円というふうになっております。こちらの不動産鑑定士、資格のある方が積算された数値でございますので、この時点、令和2年の段階でございますけれども、鑑定士という資格のある方がしっかりと積算された数字であるというふうに認識をしております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

駅北大火からの復興及び将来のまちづくりに資すると見込んで、当該物件を取得したというのは何となく流れでは分かるんですけども、建物の解体費用が3,472万8,000円で、土地の価格が、要は更地にしたときの価格が3,478万2,000円で、差引き5万4,000円であったと、そういうことなんだということなんですけれども。このときの土地の購入の際の東北電力との会議録というんでしょうか、あるいは、または復命書というんでしょうかね、そういったものというのは存在するものなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

塚田財政課長。〔財政課長 塚田修身君登壇〕

○財政課長（塚田修身君）

今ほご質問の会議録等の資料につきましては、私、財政課ですので、財政課の資料としては持ち合わせては、保管はしておりませんが、庁内の所管課のほうでは保存しているというふうな状況でございます。

○議長（古畑浩一君）

ちょっと、暫時休憩いたします。

〈午前 11 時 35 分 休憩〉

〈午前 11 時 36 分 開議〉

○議長（古畑浩一君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

井川副市長。〔副市長 井川賢一君登壇〕

○副市長（井川賢一君）

取得等の経過につきましては、当然、記録として残しております。当時、復興推進課ということで、そちらのほうを担当しておりましたが、現在、都市政策課になると思うんですけども、そちらの文書は引き継いでおります。

以上です。

○議長（古畑浩一君）

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

お答えいたします。

当然、売買の契約ですとか、それに基づく決裁、これについては保存をしております。

ただ、交渉の経過の部分の会議録、それからそういったところについては、文書の保存年限もありますので、残っているかどうかというのはちょっと確認しないと今分らないものですから、今の段階ではお答えできる状態ではないということでございます。基本的な、契約の基になった部分、それからその価格の決定の部分の決裁については残っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

そうすると、例えば誰々が東北電力ビルへ行って、要は上司の命令で、誰々さんがその東北電力ビルへ行ってどういった話をしたとか、そういったことの記録というのはちょっと今では、分からないというとおかしいがあるかもしれませんが、そういうことで理解してよろしいんでしょうか。やっぱり上司の命令で行くわけですから、そういったもので記録をして、こういった流れで、この話は市のほうで持ち出したのか、あるいは東北電力から持ち出したのかというのも、そういったことも分からない、分からないといいますかね、そういったことになるので、そこら辺は明確に、例えば公開してくれと言ったときに、ちゃんと出せるのであればそれでよろしいんですけども、今の答弁だと、なかなかちょっと、どうでしょうか、いかがでしょうかね、ちゃんと分かりませんか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

お答えいたします。

資料請求をいただく中で、先ほど言った契約書ですとかお出しできるものについてはお出しできますけども、そこに至る経過の部分というのは、文書の保存年限もございまして、残ってるもの、残ってないものというのは、議員がどういう資料を見たいのかということにもよりますので、資料請求をしていただいて、その中で、あるものはお出しできるかというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

ちゃんと残っていることを希望いたします。

○議長（古畑浩一君）

暫時休憩いたします。

〈午前11時39分 休憩〉

〈午前11時40分 開議〉

○議長（古畑浩一君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

ただいまの答弁におかれまして、渡辺議員のね、いわゆる東北電力ビルを入手したことが、その後の工事価格だとかそういうことに影響したのではないかという多分質問だと思うんですが、現状においては、その当時のことについては、この質問の通告書内では読み取れないということでありまして、担当課のほうも資料が準備、間に合わないということですので、渡辺議員につきましては、質問の内容を変えて、続けていただきますようお願いを申し上げます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

解体費の9,800万円の、この積算根拠なんですけれども、これは解体設計業務委託として、令和5年10月の462万円よろしかったでしょうか、確認ですけれども。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えをいたします。

解体設計、旧東北電力ビルの解体設計につきましては、令和5年に、今ほど議員おっしゃいました462万円というのは当初の契約額でございまして、その後、変更をしております447万7,000円の設計委託の契約となっております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

そんなに、令和5年のときだということで、そんなに過去のものではないのですけれども、かなりこの資料を見ますと開きがあったというふうに思うんですけど、そこら辺はどう思われておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

お答えいたします。

田中議員の質問にもお答えいたしましたけれども、私ども、その予定価格として、参考見積りを徴して、この価格で入札できる、いただけるということで設定をしております。業者さんのほうは、それよりも高い価格で入れてきていただいているというところがございますけれども、あくまでも結果であって、私どもはそれのできるというふうな価格設定をしているわけですので、結果として、そういう数字が離れているといった状況になっているということだと認識しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

7回目で決まったわけなんですけれども、6回目との違いが、随意契約、見積り合わせであることと、それと予定価格算出のための参考見積り依頼先の見直し、あと建物の基礎部分を残す仕様に変

更したということで、それで、市が税抜き価格で865万円の増、事業者が4,800万円の減になっておるんですけども、この理由は何であると思いますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

これについても、先ほど田中議員の質問でもお答えしましたけども、私どもその都度、今回性能発注方式ということもあって、参考見積りを徴したときに、どういう考えに基づいて設計をされた、見積りをされたかということをお聞きしております。その考えを基に仕様書を作って、見積りを徴収をして、予定価格を設定させていただいているということでございますので、あくまでも結果として、その中身は当然、私どももチェックをして確認をしておりますけども、その見積りの内容の妥当性を確認をした上で、価格がこの形になっていると、予定価格を設定しているということの結果でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

やっぱり建物の基礎部分を残すことで、かなり違ってきてるんじゃないかなというふうに、私、素人的には思うんですけど、そこら辺は改めていかがなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

建物の基礎の部分については、先ほど市長答弁にもありましたとおり、東北電力の部分、直工ではありますけども、直接工事費として約500万程度というところの額の影響はあろうかと思いません。実際に諸経費等もかかりますので、実際は、その価格では取れないんですけども、そういった部分の金額は軽減できている部分だとは思いますが。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

やっぱり落札率が98.7%ということでありまして、やはりこの基礎部分を残すことで、2億5,000万円以内にぎりぎり収まったんだなというふうに思ってしまうんですけども、随分高い買物になってしまったということだというふうに私は理解しておるんですけど、こういった入札関係に関しては、この（1）に関しては、これで終了したいと思います。

次に、入札監視委員会でありますけれども、私、第1回目からずっと見させてといますか、後ろの席で聞かせていただいておりますけども、この公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律というのがあるらしくて、この入札契約手続の透明性の確保であるとか、競争性の向上で

あるとか、不正行為の排除であるとか、適正な施工確保を目的として設置されているというふうには理解はしております。今回、委員の皆さんですかね、入札監視委員会の委員の先生方は、かなりこれ時間を要して、大変首をかしげる場面が多かったように見受けられましたけれども、本当に聞いてて、予定価格と応札額に差があって、5回もかけて値段の差が近づいていかず、それでも同じようにやってたのはなぜかみたいな、そんなような質問もあったかと思うんですけど、それに対してどう答えたのかなというふうに再度お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

塚田財政課長。〔財政課長 塚田修身君登壇〕

○財政課長（塚田修身君）

お答えいたします。

1回目から5回目、また6回目から7回目、先ほどの答弁と繰り返し、また重複する部分ございますが、私ども一回一回、もし不調になった場合は、その中身をしっかりと見直す中で、次の回、2回目だったり3回目だったり、臨んでおります。そういった中で必要な予算額につきましては、もし足りなければ議会のほうにも予算要求する中で、予算を確保した中で取り組むというようなスタンスは、今回の解体工事だけではなくて、全て公共工事においてはそのような取組をさせていただいております。

その中で、1回目から5回目につきましては、先ほど申し上げたとおり見直す中で、その設計で間違いなく執行できるというふうなことを庁内で合意をした中で、毎回毎回入札のほうには取り組んでおりますので、その結果が1回目から5回目ということで、その中で補正を要求するというふうな考え方には、それを要求するだけの根拠といたしますか、そういったものが見いだせなかったものですから、既決で既にお認めいただいている予算の中で入札のほうは執行させていただいたと、そういうふうなことでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

そういった答弁になるのかもしれませんが、でも私たちは、あまり腑には落ちない感じはいたします。

次に、このビルの跡地の広場なんですけども、汎用性のあるものとされておるんですけども、冬季の使用はかなり限定されるというふうに思います。他の自治体の事例を示してほしいということだったんですけども、一応なんかそんなような答えがなかったんですけども。何か冬場の雪遊びというようなことなんですけども、なかなか天気も悪くて、なかなか活用ができないとなると、なかなかどうなんでしょう、あんまり使い勝手が悪いといたしますか、冬の間の4か月ぐらいは、あまり利用できないというふうに思われるんですけど、そこら辺はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えをいたします。

やはり冬期間は、雪が積もっていたりとか、また天候が悪い日といったものも、夏とか秋、春に比べますとやはり多くなるといったところは、致し方ないものというふうには捉えております。

ただ、そうした中でも雪国としての遊びだったり、そういった子供たちの工夫を生かしていく中で、遊びの場として造り上げていきたいというふうには思っておりますので、雪が降って、天候が悪いから外で全く遊べないということではなく、そういった中でも遊べるような工夫をソフト的な面で充実させながら対応していきたいというふうには思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

ある程度雪の降らないといえますか、天候が安定している関東圏というんでしょうかね、埼玉、千葉、神奈川、東京とか、そういった地域とはやっぱり違うんで、やっぱりそこら辺は考えていかないと、なかなか、特に北陸地方なんかは、なかなかそうもいかないんじゃないかなというふうに思います。無理に、何ていうんでしょうか、補助金のためというわけじゃないですけども、それがために何かあんまり、本当に必要なのかなという、そういうことにもなりかねないので、そこら辺は改めていかがでしょうかね。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えをいたします。

この広場の汎用性のある広場の計画につきましては、もともと複合施設を建設するといったことで大火以降、計画をされて、協議、計画をされて進んできたというふうに認識をしております。大規模な建物の建設といったところは見送りましたけれども、もともとの目的、そういったものを達成するために、今、規模を一定程度縮小する中で、このような広場という形で実施をして、その目的を達成したいというふうには考えているところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

計画はまだはっきりは出ていないと思うんですけども、汎用性の広場の整備費、最大で9.7億円、要は9億7,000万円ですかね。運営費が年間1,000万円を見込んでいるということなんですけれども、やっぱりどうしても持つというか、維持するということになると、このぐらいコストもかかるということだと思ってしまうんですけども、そこら辺が、果たして、ほかに全天候型

の予定地を確保しているのであれば、無理にここに造る必要もないといえますかね、そう思うんですけど、そこら辺はいかがでしょう。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

若干、先ほどの答弁の繰り返しにもなるかなとも思いますけれども、こちらの広場につきましては大火からの復興、そういったところの目的がある中で計画を進めてきたものでございます。

また一方、別なところで、全天候型の屋内遊戯場の整備といったところも進めておりますが、こちらにつきましては、当初、駅北のほうで計画しておりました部分を子供たちの、子育て世代のニーズといったところを踏まえて、市の課題として何とかそちらは解決にしていきたいということで全天候型の屋内遊戯場ということで整備をさせていただきたいというものでございますので、それぞれに目的はあるというふうには理解しております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

私のところには、正直要らないというか、そういった声がやっぱり寄せられるんですね、市民の方から。あまり反対というの、あまり気が引けるところもあるんですけども、声を届けるのがやっぱり私の仕事でもあるので、そういった声もあるということをやはりちょっと受け止めていただきたいといえますか、そういった、造るのはいいんですけども、やっぱり要らないと言ってるのに、何か造る必要があるのかなという、そういったこともあるので、やはりちょっとそこら辺も、この計画に水を差すわけではないんですけども、ちょっとそこら辺考えていただきたいなと思えますけど、再度いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

井川副市長。〔副市長 井川賢一君登壇〕

○副市長（井川賢一君）

お答えいたします。

汎用性のある広場の整備につきましては、令和8年度の当初予算で、設計委託を提案させていただいているものでございます。そういった中で、皆さんから議案審査もいただきますし、仮に議案が通ったとすれば、また市民の皆さんからもご意見をしながら整備を進めていきたいという考え方でございます。

現状では、渡辺議員は今ご意見おっしゃったことについては受け止めさせていただきますが、基本的には皆さんの議案の中で、ご意見をお聞かせいただきたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

5番目に移ります。

今度の全天候型子供の屋内遊戯場は、室内の天井の高さが3.5メートルということで、網を使った遊具を設置した場合、低いのではないかなというふうに思うんですけども、また、広いのはいいんですけども、やはり今の糸魚川の出生数からいって、そんなに広さが必要なのか、そこら辺をどう考えておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えをいたします。

子供の出生数というのは確かに減少傾向にあるといったところはございますが、今現在、実際、市内で育てている、生まれ育てているお子さんたちがいらっしゃいます。そういった世代のために、やはり全天候型の屋内遊戯場は必要だというふうには考えております。

議員のほうから天井高をご心配されるご意見もいただきましたけれども、4メートル弱ということで、確かに大人から見ると若干低いというふうに感じられる場合もあるかもしれませんが、利用する子供たちの年代から見ましたら、それほど低過ぎるというものではないと認識しております。今後、その施設の整備に当たっては、そういった高さの部分も考慮しながら魅力的な子供たちの遊び場となるような検討はしていきたいというふうには思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

ここには、同時に子育て支援センターの移転というようなことを聞いております。金曜日の日の利根川議員の一般質問の中で、糸魚川の子育て支援センター以外ですね、早川にある東部の子育て支援センターも移転というようなことをちょっと私聞いたような、答弁があったような記憶はあるんですけども、そこら辺はもう決定なんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えいたします。

糸魚川子育て支援センター、現在、やまのい保育園の中にあります糸魚川子育て支援センターには、こちらの全天候型屋内遊戯場のほうに移設をしたいというふうには考えております。

また一方で、はやかわ保育園に併設しております糸魚川東部子育て支援センター、こちらにつきましても、利根川議員の質問でも利用状況等を勘案しながら、これから統合することも検討していきたいということではお話し申し上げましたけれども、決定しているといったものではございません。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

少しそれを聞いて安心をいたしました。急に言われるもんですから、そんな話は聞いてなかったので、ほかの委員会でもそういった話はなかったので、よろしく願いいたします。

あと、賃貸借料、70万円ですね、あと遊具の、どうなんでしょうかね、買うのか、あるいはレンタルにするのかちょっと分かりませんが、なるべくコストというのを抑えていただきたいなと思います。やはり平日よりも、どちらかという土曜日、日曜日、祝日の利用が多いんだろうと思いますので、そこら辺、やはりちょっと今後このコスト面でかなり抑えてといただけますか、いただけたらと思っておりますけど、再度いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えをいたします。

全天候型の子供遊戯場のほうにつきましては、今、概算で、工事費として、整備費として8,000万円ということで予定を検討させていただいているところでございますが、今後、詳細な内容を詰めていく中で、議員おっしゃられたその経費節減という部分につきましては、可能な範囲で検討はしていきたいというふうには思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

運営費も年間2,500万円というような予定のようなので、少しでも抑えていただきたいなど、そのように思います。

それでは、2番目の人口減少対策について、推進について伺います。

この人口減少対策の重点推進項目として、U・Iターン促進による担い手確保であるとか、若者の出会いと交流をサポートであるとか、あるいは子供の郷土愛の醸成とキャリア教育の推進であるとか、安心して産み育てられる環境整備、若者、特に女性の定着促進、消滅可能性自治体となったことへの対応と、6項目を上げております。この間のこの委員会の資料でございます。

ただ、これ全て満遍なくというのは、やはり困難であるというふうには思います。U・Iターンに

しても、今の仕事を辞めて、地元へ帰るとするのは、やはりよほどの事情がないと来ないと思うんですけども、そこら辺はいかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

大西企画定住課長。〔企画定住課長 大西 学君登壇〕

○企画定住課長（大西 学君）

お答えいたします。

今ほどの質問のU・Iターンにつきましては、やはり個々の事情というのがあると思っております。やはりよく聞かれるのが、親御さんの介護等で帰られるとか、第二の人生をふるさとで過ごしたいだとか、様々な事情があると思いますので、そういった様々なニーズを酌み取りながら、政策のほうを考えていきたいなというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

そうですね、いろんな事情があろうかと思しますので、すぐというわけにはなかなかいかないんだろうなというふうに、それは私も理解はしております。

あと、この第4次総合計画なんですけれども、その前の、今やっている、この第3次糸魚川市総合計画についてなんですけれども、その内容自体は、非常にそのようになったらいいなというふうには思うんですけれども、なかなか実感が湧かないというんでしょうかね、恐らく庁内の職員と申しますか、職員の皆さんで、自分たちで考えたものなんだろうとは思いますが、何となくなかなかそういう実感が湧かないものですから、どうしても何かどこかのシンクタンクか何かのコピペというんでしょうかね、そういったものを写してきたのかなみたいな、そんな感じも見受けられるんですけど、そこら辺はいかがでしょうか。自分たちで考えて、政策というんでしょうかね、打っているというような、そういうことでよろしいんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

大西企画定住課長。〔企画定住課長 大西 学君登壇〕

○企画定住課長（大西 学君）

お答えいたします。

総合計画の策定手法につきましては、今ほどご質問のシンクタンク等の委託のほうはしておりません。やはり庁内の実務をよく分かっている職員が、その現場現場で持っておられます情報を活用しまして、総合計画のほうを策定させていただいております。

ただ、やはり庁内の職員だけでは、市民ニーズというのは測れませんので、審議会等を策定いたしまして、外の市民の声のほうを拾わせていただいているとともに、議員の皆様にもお諮りしておりますし、パブリックコメント等もかけさせていただきまして、策定のほうはさせていただいております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

やっぱりその中では、私、何回も言うんですけども、働く場だと思うんですね。やはり企業誘致であれば、推進しますではなく、やっぱり年間の数値目標を立てて、やっぱりそれに、何ていうか挑戦してもらいたいというふうに思うんですけども、そこら辺はいかがお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

渡辺議員からは、これまでも企業誘致の取組を推進するべきだということでご発言をいただいております。その都度、現状の糸魚川市内の労働力の状況等をお話しさせていただいたものと、あとは久保田市長からは、既存事業者の事業拡張がまず優先だということでお答えさせていただいております。業種が重ならない、または新しい事業体であったりする場合に、労働力の取り合いにならないような企業の誘致の可能性があれば、積極的に取り組んでまいりたいと思いますが、議員ご提言のような具体的な、この年度に何社誘致するということころまでは、現在、検討は進めておりません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

私はやっぱり、それは何ていうんでしょうかね、できないから駄目だって言われてもないし、命を取られるわけでもないし、仕事なんでやっぱり目標を持ってやっていったほうが、私はいいと思うんですね。それがまた成功になれば、自分の自信にもなるし、やっぱり挑戦してもらいたいと思いますね。やっぱり何かそのままだと、推進します、何か促進します、そういうような言い方よりも、これだけ取ってくるというような目標があれば、やっぱりみんな、じゃ、頑張ってみようということになるんじゃないかなというふうに思うんですけど、そこら辺いかがでしょうかね。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

新しい事業者を誘致して、例えば同じ製造業だとして、給与体がすごく高い会社が入ったときに、既存の事業者からは、当然労働力の奪い合いが発生すると思われます。それを阻止するために、既存の事業者が給与を上げるということも考えられますが、糸魚川市の状況では、後者のほうではなくて前者のほうになるのではないかと思います。そういったときに、行政の責任としまして、わざわざライバル企業を連れてくるということに対しては、慎重にならざるを得ないというふうにはご理解いただきたいと思ひます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

それだと、もう全然変わらないんじゃないかなって思いますよね。やっぱり今の現状を見たら、どちらかしたら、もう皆さん若い人がどんどん出ていくわけですよ。そんなことやってたら、やっぱりこう呼び込むんだという、そういうものがないと、出ていだけじゃ、もう減るばっかですから、それはやっぱりちょっと違うんじゃないかと思えますよね。なので、それはもうちょっと違うと私は思います。

であれば、もし違う業種の、そういったメーカーさんでも呼んで来て、呼んで来てというか、そういったアプローチをして、やっぱりそうしていってもらったほうがいいと思うんですよね。だから今までやってみて、なかなかそうはいかないのであれば、やっぱりやり方変えていくしかないだろうと思うんですよね。だから、それじゃ、もう今までどおりですよ。減る一方ですよ、毎年1,000人ぐらい減って、それは、もうやむを得ないのかもしれませんが。やっぱりちょっと役所として、もっと何かできるんじゃないかな、できることがあるんじゃないかなというふうに思いますので、やはり失敗を恐れず、ちょっとやってみてもらえないでしょうかね。改めていかがでしょうか、課長ならできるんじゃないですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

例えばIT系企業の誘致ですとかそういった部分では、これまでも動いてきておりますし、決して何もやっていないわけではありません。先ほど来言っておりますが、新しいそういった事業体のチャンスがありましたら誘致には動きますが、繰り返しになりますが、例えば糸魚川の産業をこれまで支えてきた方々の事業の継続が最優先というふうに捉えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

大西企画定住課長。〔企画定住課長 大西 学君登壇〕

○企画定住課長（大西 学君）

総合計画の観点から、お話しさせていただきたいと思えます。

今回の総合計画の中では、人口減少社会に対応するものということで考えておりまして、国のほうでも言っておりますが、人口減少は、社会構造の変化によって生じます自然な現象でありまして、時代の流れとして捉えることが重要であると言われております。そのような中、やはり人口減少に伴う社会的影響が課題になるのではないかなど。じゃ、どういった課題かといいますと、一例を挙げますと、やはり経済面でいいますと税収が減少するだとか、消費や労働力がなくなっていくという影響もあると思っております。

そのような中で、自治体につきましては、人口減少を止めるのではなくて、減る中で、どう持続可能な社会を構築するかと考えていくことが重要であるというふうに思っております。やはり市としましては、人口減少を問題として捉えるよりも、新たな社会デザインを構築するよい契機だとい

うふうに捉えて取り組んでいきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

難しいのは重々分かっておりますので、諦めずにやっていただきたいと、そのような願いからこのように言っております。お願いいたします。

ほかの市町村を言うのもなんですけども、上越市では、来年度から市外企業が市内にサテライトオフィスなどを開設する際、初年度のオフィスの賃借料を年間144万円を上限に全額補助する制度を設けるとのことです。いろいろアイデア次第、もちろん財源もあろうかと思えますけども、そういったことで少しずつ新しい人の呼び込みということをお願いしたいと、そのように思います。

（4）ですね、経済団体、あるいは民間、周辺自治体ということなんですけども、私はせっかく新幹線が通っているんで、何とか新幹線通勤できるエリアで働くことが理想だというふうには思っておるんですけども、そこら辺は何か新幹線通勤等に、もしある企業さんがどうしてもそこまでは出せないというんであれば市が半分出すとか、何かそういった制度みたいなものというのは創設できないものでしょうか、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

通勤手当の行政の支援ということかとは思いますが。実際には、そういった計画はございませんし、事業者からそういったお声をいただいたことが、これまで1回ぐらいあるかなとは思いますが、現状、例えば新幹線通勤とちょっと話違いますが、上越市と糸魚川市で、通勤でそれぞれ移動する方の数というのは、上越から糸魚川に来られる方が若干少ないんですが、人口規模からすると、糸魚川はよく頑張っているほうだというふうに捉えております。ですので、通学は少し、かなり多めに上越には出ておりますが、通勤には、外からは結構呼ばれていると思っておりますので、そういった部分では、現状、新幹線通勤への支援という部分については、まだまだ検討段階には至っていないという状況です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

上越・妙高まで新幹線で10分ぐらいなんですけども、何かうまい手はないもんかなと思っておるんですけども、そんなふうに、まだまだあれかもしれません、ちょっと先走りになるかもしれませんが、近い将来そういったことができたかなというふうに思っております。

あと（5）でございます。人口減少対策本部会議というのと人口減少少子化対策プロジェクトチーム、なかなか似たような感じのところなんですけれども、これは、やはり何か成果として、定期

的に何か公表というんでしょうか、市の考え方であるとか、何か発表する機会、公表する機会というのはあるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

大西企画定住課長。〔企画定住課長 大西 学君登壇〕

○企画定住課長（大西 学君）

お答えいたします。

今回設置します本部会議とプロジェクトチームにつきましては、少子化対策、高齢化対策、人口減少対策ということで設置させていただいております。

先ほどの答弁にもあったと思うんですが、やはり市役所でやっている事業につきましては、全てがそのものにつながっていているものだというふうに思っております。ですから、この事業、個別につきましては、この本部会議でどのような成果があったとか、プロジェクトチームでどのようなものがあったというものにつきましては、その都度、公表するつもりはございませんで、やはり総合計画の中で評価につきましては、事務事業評価等におきまして公表していきたいなというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

何かせっかく会議もやられるのであれば、何か公表したほうがいいんじゃないかなんて思うんですけどね。何ですかね、ちょっと分かりませんが。ぜひね、せっかく定期的にやられるのであれば、やはり公表していったほうがいいなというふうに思います。

首都圏のように黙っていても人が集まるというようなところであればいいんですけども、地方はそうはいかないので、同じことを繰り返し行っても駄目なんで、その都度見直していてももらいたいと、そのように思います。

人口対策に関しては、以上で終わります。

3番目の高齢者を取り巻く現状と課題についてであります。

先ほど、2045年には48.8%になるというような市長答弁がございました。下早川地区の高齢化率というのが48.3%であることから、しばらくはこの傾向が続くものと思いますけれども、健康でありさえすれば、私はそう何か心配というふうには思っておりません。

ただ、高齢化の進展に伴って、独り暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加していることについて、どのようなことができるのか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山岸福祉事務所長。〔福祉事務所長 山岸千奈美君登壇〕

○福祉事務所長（山岸千奈美君）

お答えいたします。

高齢化、そして独居の方が増えていくことでというご質問でございましたが、議員おっしゃいま

すように、いろいろアンケートの結果と状況を見ますと、やはり一番在宅生活で支障があり、困難を感じているという方は、独居、そして要介護2以下、そして認知症の悪化という状況でございます。それを踏まえた上で、来年度につきましては認知症対応型のグループホームも新たに開設予定となっておりますし、長いスパンも併せて来年度につきましては、認知症施策の推進計画というものも第10期の介護保険事業計画において策定でございます。特に独居で認知症というところの課題というところには注力してまいりたいと思っておりますし、今後に向けてというところでは、そういった施設の数を増やすというよりも、サービスの充実については、人材確保、担い手の確保が必要かと思っておりますので、そういった部分にも、また計画の中でしっかり位置づけながら、対策を立てていく予定でございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

今の答弁を聞きまして、ぜひサービスの充実であるとか、担い手の確保だとか、そういったものに力を入れていただきたいと、そのように思います。

あと、何ていうんですか、在宅での介護や施設等でのおのこの要望ということなんですけども、かなりケアマネジャーさんであるとか、サポートのほうでは体制が整っているというようなふうにしておるんですけども、そういった考えでよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山岸福祉事務所長。〔福祉事務所長 山岸千奈美君登壇〕

○福祉事務所長（山岸千奈美君）

お答えいたします。

3年に1回の計画策定時に調査を行っておりまして、在宅介護実態調査、そして在宅生活改善調査という調査になりますが、その調査を見ますと、利用者の方の約9割の方が在宅生活維持のためのサービスが提供されている、今のサービスの量で在宅生活維持が可能であるというふうに回答しているという結果を踏まえまして、おおむね充実はされているというふうに理解しております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

3番目になります。

在宅介護で仕事との両立が困難である場合、介護離職を防ぐ方策として、フレックスタイム制であるとか、そういった職場の制度の充実が必要と思われます。市役所が、やっぱり先頭に立ってほしいと思うんですけども、そういった考えはございますでしょうか、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

磯貝総務課長。〔総務課長 磯貝恭子君登壇〕

○総務課長（磯貝恭子君）

お答えします。

市役所におきまして公務員については、休暇制度、比較的充実しているというふうに思っております。市のほうとしても、法律にのっとった休暇制度の整備をしております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

渡辺議員。

○4番（渡辺栄一君）

市役所が、やはり表立って出ていただいて、それにまた民間が追随するような形に取っていただけたらと、そのように思います。

支援や介護が必要になっても、自立した生活が送れるように介護サービスの基盤の維持、確保に努めてほしいことであるとか、あるいは地域住民同士による安否確認や見守り体制の充実を図り、住み慣れた地域で安心して生活できることを希望して、私の一般質問を終了いたします。ありがとうございました。

○議長（古畑浩一君）

以上で、渡辺栄一議員の質問が終了いたしました。

昼食時限のため暫時休憩いたします。

再開を13時30分といたします。

〈午後0時25分 休憩〉

〈午後1時30分 開議〉

○副議長（保坂 悟君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

午前中に引き続き一般質問を行います。

次に、田原洋子議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○副議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。〔10番 田原洋子君登壇〕

○10番（田原洋子君）

こんにちは。田原洋子です。

通告書に基づき、1回目の質問をいたします。

1、シーサイドバレースキー場とシャルマン火打スキー場の今後の方針について。

シーサイドバレースキー場は、糸魚川インターチェンジから車で15分、糸魚川駅からバスで乗